



T.Miki

THE IRELAND TROPHY FUCHU HIMBA STAKES

第72回 アイルランドトロフィー 府中牝馬ステークス (GII)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 55,000,000円 22,000,000円 14,000,000円 8,300,000円 5,500,000円
付加賞 1,078,000円 308,000円 154,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

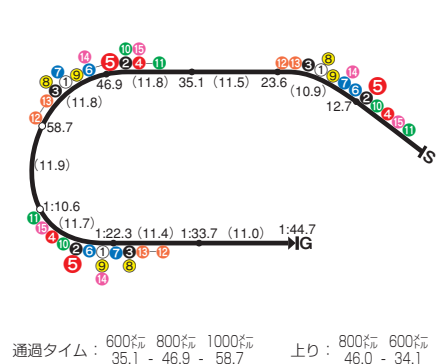
牝、3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳53^{kg}・4歳以上55^{kg}、2023.10.14以降G I競走1着馬2^歳増、G II競走1着馬1^歳増、
2023.10.13以前のG I競走1着馬1^歳増(ただし2歳時の成績を除く)

2024.10.14 東京 晴・良 芝1800m 国産(指定)

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑤	ブレイディヴェーク	牝4	57	C.ルメール	1:44.7	10-10-10	32.8	472(+12)	3.6②	宮田敬介(美浦)	115
2	⑩	シンティレーション	牝5	55	戸崎圭太	1/4	12-11-12	32.8	480(±0)	37.2⑩	池上昌和(美浦)	108
3	⑥	マスクトディヴァ	牝4	56	川田将雅	1/2	9-8-9	33.3	460(+6)	2.3①	辻野泰之(栗東)	109
4	⑦	フィアスプライド	牝6	55	M.デムーロ	3/4	7-5-5	33.6	474(±0)	9.4④	国枝 栄(美浦)	106
5	⑬	ルージュリナーシュ	牝5	55	横山和生	3/4	14-13-14	32.9	448(+2)	42.7⑪	宗像義忠(美浦)	
6	⑨	フィールシンパシー	牝5	55	横山琉人	1/2	6-7-6	33.7	456(±0)	106.9⑬	小島茂之(美浦)	
7	②	アスコルティアエモ	牝4	55	津村明秀	1/2	10-11-10	33.5	452(-10)	27.3⑧	林 徹(美浦)	
8	④	モリアーナ	牝4	55	岩田康誠	クビ	13-13-13	33.3	482(-6)	8.6③	武藤善則(美浦)	
9	⑫	コンクシエル	牝4	55	岩田望来	アタマ	1-1-1	34.9	482(+6)	19.6⑦	清水久詞(栗東)	
10	③	リュウエル	牝5	55	北村友一	アタマ	3-3-3	34.2	432(-2)	164.5⑮	矢作芳人(栗東)	
11	⑧	コスタボニータ	牝5	55	松山弘平	クビ	4-3-3	34.3	478(+2)	19.2⑥	杉山佳明(栗東)	
12	⑪	セントカメリア	牝5	55	鮫島克駿	1/4	15-15-15	33.2	466(+12)	71.0⑫	高野友和(栗東)	
13	⑭	ライラック	牝5	55	横山武史	クビ	7-8-6	34.1	458(+18)	33.8⑨	相沢 郁(美浦)	
14	⑬	モスゴールドパレル	牝5	55	A.シュタルケ	1/2	2-2-2	34.9	464(-6)	107.7⑭	藤岡健一(栗東)	
15	①	ハーバー	牝4	55	武 豊	5	4-5-6	35.2	488(+20)	12.7⑤	友道康夫(栗東)	

単勝⑤360円(2^歳増) 複勝⑤150円(2^歳増) ⑩520円(10^歳増) ⑥120円(1^歳増) 枠連③-⑥2,650円(14^歳増)
馬連⑤-⑩6,790円(20^歳増) ワイド⑤-⑩1,910円(24^歳増) ⑤-⑥240円(1^歳増) ⑥-⑩1,280円(15^歳増)
馬単⑤-⑩8,270円(26^歳増) 3連複⑤-⑥-⑩4,090円(8^歳増) 3連単⑤-⑥-⑩29,330円(78^歳増)
5重勝⑤②⑦⑥⑬123,280円(3,372票) 対象競走: 東京9R/新潟10R/東京10R/新潟11R/東京11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m
35.1 - 46.9 - 58.7 46.0 - 34.1

アラカルト

- ・C.ルメール騎手はディアドラで制した18年に続くアイルランドトロフィー府中牝馬S3勝目。JRA重賞は本年9勝目、通算156勝目
- ・宮田敬介調教師はアイルランドトロフィー府中牝馬S初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算5勝目
- ・ロードカナロア産駒はJRA重賞通算74勝目
- ・4歳馬の勝利は19年スカーレットカラーに続く通算31回目
- ・ブレイディヴェークはエリザベス女王杯(G I)に優先出走できる

ブレイディヴェーグ *Brede Weg*

牝 鹿毛 2020.4.11生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・(有)サンデーレーシング 美浦・宮田敬介厩舎
馬名意味・広い道(オランダ語)

ミュージカルウェイFR系 F2-s

ロードカナロア 鹿毛 2008	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	レディブラッサム 鹿毛 1996	Storm Cat サラガデューUSA
インナーアージ 鹿毛 2010	ディーブインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	ミュージカルウェイFR 栗毛 2002	Gold Away Mulika

5代までのインブリード：Mr.Prospector S4×M5 Nureyev S5×M5

INTERVIEW

林寛明 厩舎長(ノーザンファーム空港)

格別の勝利となりました

今年に入ってから思うようにレースを使えなかったことが残念でしたので、格別の勝利となりました。昨年のエリザベス女王杯からプラス12ヵ月の出走となりましたが、成長分だけでなく、先のレースを見越しての仕上げだったと思います。それだけにあの強さには驚かされました。デビューからまだ6戦しか走っていない馬ですし、さらなる活躍を期待しています。

S.Suzuki



外枠から意欲的に飛び出し、先手を奪ったコンクシエルは緩みのないラッ
ブを刻んでレースを先導。馬群の隊列が延びていくなか、マスクトディーヴァは先頭から10馬身ほど離れた中団を進む。ブレイディヴェーグのC・ルメル騎手はこれを見る形で少し離れた背後を追走。3番人気に支持された昨年の紫苑Sの覇者モリアーナは、後方3番手で折り合いに専念した。
3コーナーから徐々に後続を離し、3馬身ほどのリードをつけて直線に向いたコンクシエルは残り200m地点で失速。馬群の内側に開いたスペースを突いたマスクトディーヴァがかわって先頭に躍り出る。とはいえそれも束の間、大外に進路を取ったルメル騎手が坂の上りから追い出すと、ブレイディヴェーグは爆発的な末脚を一閃。段違いの勢いで相手を呑み込み、後方から追い込んだシンティレーションの追撃も寄せ付けずに勝利を手にした。
未勝利戦を6馬身差で圧勝、続く1勝クラス戦も好時計で完勝し、「才媛出現」と脚光を浴びた本馬は、マスクトディーヴァに敗れたローズS(2着)を挟んでエリザベス女王杯に優勝。歴代タイの浅いキャリア(4戦)、それも重賞未勝利で古馬GIを制覇するという離れ業をやつてのけた。その後、アクシデントが重なって休養が長引いたものの、じっくりと態勢を整えられて臨んだ復帰戦で一段と成長した姿を披露。天才肌の女王が新たな頂に向け、力強い一歩を踏み出した。

父ロードカナロア

北海道新ひだか町 ケイアイファーム生産 詳細はP.8参照

母インナーアージ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央21戦4勝(サンシャインS)

アージオン(17 牝父ロードカナロア)中央8戦0勝

インナリオ(18 牝父モーリス)中央14戦2勝

エルバリオ(19 牝父ドレフォンUSA)中央25戦4勝(麦秋S、四日市特別)⑧

ブレイディヴェーグ 本馬(20 牝父ロードカナロア)中央6戦4勝(エリザベス女王杯^{G1}、アイルランドトロフィー府中牝馬S^{GII}、ローズS^{GII}2着)獲得総賞金226,876,000円

(21 不受胎)

エーデルヴェーグ(22 牝父サートウルナーリア)⑧

(23 牝父ハービンジャーGB)

(24 牝父ルーラーシップ)

祖母ミュージカルウェイFR

仏、伊、香、愛、星8勝(ドラル賞・仏^{G2}、ラクーブドメゾンラフィット・仏^{G3}2回、ブローニュ賞・仏L、香港C^{G1}3着、リディアテシオ賞・伊^{G1}3着2回、コリダ賞・仏^{G2}3着)、09年輸入、22年死亡

インナーアージ(10 前出)

トーセンマタコイヤ(11 牝父ディーブインパクト)中央5勝(ウェルカムS、オリエンタル賞、精進湖特別、山吹賞)、地方0勝

ミッキークイン(12 牝父ディーブインパクト)中央5勝(オクス^{G1}、秋華賞^{G1}、阪神牝馬S^{GII}、忘れな草賞^{Gp}、ヴィクトリアマイル^{G1}2着、阪神牝馬S^{GII}2着、ローズS^{GII}2着、クインC^{GIII}2着、宝塚記念^{G1}3着、エリザベス女王杯^{G1}3着2回)、最優秀3歳牝馬、**ミッキーゴージャス**⑧(愛知杯^{GIII}、修学院S、夕月特別)の母

ルールブリタニア(13 牝父ディーブインパクト)中央1勝、**エヒファニー**⑧(小倉大賞典^{GIII}、ケフェウスS^{Gp}、ノベンバーS、白井特別、中京記念^{GIII}2着)の母

リズムオブラヴ(17 牝父ディーブインパクト)中央1勝

曾祖母ムリカ Mulika

フランス産 仏0勝

マレーリヴァー Murray River(96 牝父Esprit du Nord)仏1勝(ノアイユ賞^{G2}3着)、英障害2勝

ミュージカルウェイFR(02 前出)

GI馬の底力を示し始動戦を白星発進

秋華賞2着、ヴィクトリアマイル3着と、頂点のタイトルを射程に収める重賞2勝馬マスクトディーヴァが、11カ月のブランクを乗り越えて復帰にこぎつけた昨年のエリザベス女王杯の覇者ブレイディヴェーグか。変則的な3日間開催の最終日に組まれたアイルランドトロフィー府中牝馬Sは、4歳両馬の「再戦」が注目点となった。1番人気には順調度に優る前者が支持されたものの、勝利の女神が微笑んだのは後者。出走馬中唯一のGIウイナーがさすがの底力を示し、長期休養明けの始動戦を白星で飾った。